



66th ボートレースダービー

# BOAT RACE DERBY

10/22 TUE 23 WED 24 THU 25 FRI 26 SAT 27 SUN

10月22日から児島で開催されるSG第66回ボートレースダービー。その開催までいよいよ40日あまりに迫ってきた。児島でSGレースが開催されるのは17年クラシック以来の2年半ぶりで、通算では今回が12度目の開催となる。ここでは最近の児島開催のSGを振り返り、またレース予想にあたってきわめて重要なエンジンについて考えてみたい。

## 3SG連続で 地元も優出

児島における過去11回のSGレースとその優勝者は表の通りだ。ほとんどは90年代以降の開催であり、その多くを覚えていたという古いファンもいるのではないだろうか。ただ最近ポーターレースを始めたばかり

のファンもいるので、児島でのSGは初めてという方もいるはず。そこで過去3回ほどの大会をリプレイしてみよう。

11年の第21回グランドチャンピオンは、東日本大震災の復興支援として行われた。この時点で過去4回中3回のグラチャン優勝を誇って

いた湯川浩司の活躍が期待されたが不発、一方、ふたりだけだった地元勢がいずれも予選突破し、うち平尾崇典が優出して大いに盛り上げた。シリーズを引っ張った魚谷智之や田村隆信が準優でインから負けるという波乱もあり、優勝戦の1号艇をつかんだのは当時

はまだ若武者の平本真之。しかし、1番人気は平本ではなく、2号艇の瓜生正義！ 瓜生は準優でも2コースから差して勝っており、また仕上がりは節一級だった。本番でも展示からぶつちぎりの気配、スリット後手を踏んだ平本をあっさりとまくり切り、圧勝劇を



2011年のグラチャンは2コース  
まくりで瓜生正義が圧勝した

見せつけた。もともと定評のあった瓜生の2コース戦を、さらに強く印象付けたシリーズだった。

翌年の12年は、第15回のチャレンジカップ。グランプリへの残り切符は4枚ていどという状況、また前年からの賞金改訂もあって賞金下位の選手は優勝が絶対条件ともなっていた。そして茅原悠紀や吉田拓郎ほか4名の地元選手が出場、王国復活？も期待

された大会となった。シリーズを引っ張ったのは絶対エース44号機を駆った中辻崇人。しかし11年グラチャンに続いてまたも準優2レースでインが敗れるという波乱が起こる。そしてただひとり、逃げて優勝戦1号艇をモノにしたのは地元の平尾崇典。道中は



2012年の第15回チャレンジカップは地元の平尾崇典がSG初優勝

1着1本ながら3連単を外さない安定感で地元SG連続優出。不惑の40歳はこのチャンス

を逃さず、最後まで完璧な  
ターンで逃げ切り、05  
年の山本浩次以来の岡山  
勢によるSGVとなっ  
た。

最も最近のSGは  
17年の第52回クラ  
シック。11月からの新  
期に入ってからにはG1ふ  
たつを含む3優出3優  
勝と絶大な勝負強さを見

せていた地元茅原悠紀に  
期待が集まった大会。そ  
して6号艇ながら優出  
と見事に期待に応えた。

ただし、シリーズをリー  
ドしたのは桐生順平。初  
下しから2ヶ月程度と  
はいえ、なんと2連対  
率84%というエンジン  
を引き当て、大敗した1  
戦を除いて序盤から2



2017年第52回クラシックでSG2冠となった桐生順平

着を外さず予選トップ通過。準優もしつかり逃げ、最後は1周BSで後続を7〜8艇身引き離す圧勝劇を演じきった。初

優勝からSGでは勝ちきれなかった桐生が、その強さを再認識させる2度目のクラシック優勝となった。



●ボートレース児島・開催SGの優勝者

優勝戦日	レース名	優勝選手
1981/3/24	第16回ボートレースクラシック	平尾 修二
1994/8/30	第40回ボートレースメモリアル	関 忠志
1996/5/27	第23回ボートレースオールスター	松井 繁
1999/3/22	第34回ボートレースクラシック	今垣光太郎
1999/8/29	第45回ボートレースメモリアル	山本 浩次
2001/11/25	第4回チャレンジカップ	西島 義則
2004/11/28	第7回チャレンジカップ	田村 隆信
2008/3/30	第43回ボートレースクラシック	松井 繁
2011/6/26	第21回グランドチャンピオン	瓜生 正義
2012/11/25	第15回チャレンジカップ	平尾 崇典
2017/3/20	第52回ボートレースクラシック	桐生 順平

※1968年にボートレースメモリアルを開催予定だったが中止となっている。

**開催までは  
残り3開催**

さて、第15回チャレンジCではエース機の中辻崇人が予選トップ、第52回クラシックでは桐生順平が優勝と、やはりSGでも強力なエンジンの助けが不可欠。もちろん、舟券を買う側もそのチエツクは欠かせない。



兎島のエンジンは1月が初下しなので、ダービー開催時にはほぼ10ヶ月が経過していることになる。したがって相場は大体固まっている。表は現地記者による兎島のエンジン評価で、上位25機については短評も付した。

エース機クラスと言え

るのは若狭奈美子に初優勝をもたらした66号機、行き足から伸び足が際立つ42号機、パワーがズバ抜けている20号機、それに3度の優勝をもたらしている12号機あたり。28号機や61号機も実戦で目立ち、ダービーではこのあたりのエンジンを引いた

選手には、初日から注目したい。

ただし、これまでの相場だけで判断してしまうのもまた禁物だ。7月には三井所尊春がほぼワーstromクラスのエンジンを仕上げて優勝をさらった例などもあるからだ。そのためダービー開催までは児島のレースに注目

し、気になるエンジンをチエックしておきたい。

本誌発売日以降、児島では次のレースが開催される。

●9月14日～19日

**GⅢ第18回シモデンカップ**

●9月29日～10月4日

**BTS松江開設19周年記念競走**

●10月8日～13日

**ルーキーシリーズ第16戦**

**スカパー!!・JLC杯**

ここで自分だけ  
の注目機が見  
つかれば、ダ  
ビーで舟券を当  
てまくる、そん  
なラッキーが訪  
れる、かもしれ  
ない。

## ボートレース児島地元記者によるエンジン評価

### ●エンジン上位25機

番号	評価	勝率	2連率	1着	2着	優出	優勝	出足	伸足	回足	短評
42	A	6.34	50.9	41	41	6	2	◎	○	◎	福来剛が出足、回り足中心に仕上げV。底力のある上位機の一つ。
66	A	6.38	49.7	43	33	4	1	◎	◎	◎	ペラ調整によって何処かに特徴がでる良機。近況はバランス上位。
28	A	6.52	47.5	39	37	6	2	◎	○	◎	試走タイム一番時計でV2実績。スリット近辺の良さが特徴だ。
20	A	6.22	46.2	45	27	5	0	○	◎	○	V歴こそないが、行き足から伸びが特徴。チルト0は更に威力。
70	A	6.06	45.6	42	31	3	2	◎	○	○	スリットから伸びへの繋がりが良い。ペラで出足にスライドも。
15	A	5.93	44.6	39	31	5	2	◎	◎	◎	吉田拓郎の記念V機。ターン足に力感があり、上位級の一角。
72	A	5.99	44.4	38	34	4	0	○	◎	○	近況は展示タイムから良く伸び中心に上位。出足も中堅以上。
41	A	5.94	44.2	36	36	5	1	◎	○	◎	谷川祐一が3カドからVを決めた好調機。ターン後の加速が◎印。
54	B	5.78	42.8	36	32	4	0	○	○	○	立間充宏が5勝して力強い走りを見せた。バランス型で中堅上位。
45	A	5.78	42.0	39	29	4	0	○	○	○	A級選手が乗れば着をまとめる。B級選手でも枠なりの着を確保。
53	B	5.59	41.6	38	29	4	1	○	○	○	2連対40%あるのは安定している証拠。特徴ないがバランス型。
68	A	5.87	41.5	29	39	4	0	○	◎	○	ペラ調整で反応が出る良機。止めれば伸び、回せば出足系が良い。
61	A	5.70	40.4	36	27	6	2	◎	○	◎	小林遼太を初Vに導いたパワフル機。「ミスをカバーする」と絶賛。
21	C	5.70	38.6	33	28	1	0	○	△	△	勝率はそこそこあるが、特別に出て行く足はなく、水準レベル。
19	B	5.62	38.4	26	35	3	1	○	△	○	齊藤仁が出足を仕上げてVした良機。A級が乗れば上位に接近。
36	A	5.59	37.8	38	24	3	1	○	○	○	お盆戦で茅原悠紀がV。伸びは中堅級だが、実戦で威力発揮する。
59	A	5.42	37.3	28	31	2	0	○	○	○	お盆戦で小畑実成が優出。競った時に力を発揮する実戦向き。
48	B	5.74	37.1	34	25	1	1	○	○	○	伸びは普通もターン足に軽快さ。ペラが合えば上位クラスまで。
17	B	5.59	36.7	30	28	4	0	○	△	○	野添貴裕が乗って以降は出足、回り足が良く、ターン足が軽快。
12	B	5.69	36.2	34	25	6	3	○	△	○	3月LASで寺田千恵がV。その後も中堅以上の動きは十分ある。
49	C	5.57	35.8	33	25	1	0	○	△	△	体重がある前野竜一が乗ってもターン足軽快。機歴なりは十分。
50	A	5.54	34.8	29	25	2	0	◎	○	○	吉川貴仁が新ペラに交換もノーハンマー。日毎に良化で準優勝。
27	A	5.04	32.1	27	25	4	0	○	◎	○	夏場に調子が良く堀之内紀代子、福田雅一が優出。回り足良い。
24	A	5.06	30.1	23	24	2	0	◎	◎	◎	中間整備から動き一変。勝率こそ低いが、上位と遜色ない動き。
39	B	4.69	28.7	21	26	1	0	◎	○	○	関裕也が新ペラに交換以降は動き軽快。回転上がれば繋がり◎。

※2連対率上位順。ただし下位の数機は2連対率に関わらずポテンシャルを評価し上位25機入りとした。

## ●中堅以下のエンジン

番号	評価	勝率	2連率	1着	2着	優出	優勝	出足	伸足	回足
31	D	5.16	35.2	32	25	3	0	△	○	△
62	B	5.15	34.6	30	26	2	0	○	○	○
64	C	5.20	34.4	28	28	1	1	○	△	○
67	C	5.07	34.0	26	28	4	0	△	○	○
52	C	5.03	33.8	19	34	3	1	△	○	○
60	C	5.28	33.5	20	33	2	0	○	△	△
56	C	5.22	32.9	23	29	2	0	○	△	△
38	A	5.11	32.7	30	24	2	0	○	◎	○
34	C	5.25	32.7	21	32	1	0	○	△	△
57	B	5.04	31.9	25	25	1	0	○	○	△
32	B	4.88	31.4	22	27	1	0	○	△	○
33	B	4.91	31.1	23	27	1	0	○	△	○
22	D	4.83	30.9	21	29	1	0	△	△	△
16	C	4.87	30.8	22	27	0	0	○	△	△
11	C	4.76	30.3	16	34	0	0	○	△	△
13	D	4.85	30.3	25	25	4	0	△	△	△
44	A	4.81	29.9	25	24	1	1	◎	○	○
18	D	4.94	29.8	23	25	1	0	△	△	△
26	D	4.77	29.6	19	26	3	0	△	○	△
40	C	4.80	28.7	22	25	1	0	○	○	△
69	B	4.71	28.7	16	29	1	1	○	○	○
23	C	4.94	28.5	21	24	1	0	○	△	△
25	B	4.65	28.5	25	22	1	0	○	○	○
65	C	4.79	28.5	26	21	3	0	○	△	○
47	A	4.84	28.0	23	22	2	0	◎	○	○
37	C	4.63	27.5	23	21	2	1	○	△	△
58	C	4.41	26.3	18	22	2	0	○	△	△
14	D	4.46	26.3	15	26	1	0	△	△	△
43	B	4.96	26.2	26	17	0	0	△	◎	△
55	C	4.53	25.8	19	21	1	0	○	○	△
71	D	4.46	24.8	16	21	0	0	△	△	△
30	D	4.57	24.7	17	21	2	0	△	△	△
51	C	4.50	24.2	19	21	3	0	○	○	△
63	D	4.23	21.4	14	19	0	0	△	○	△
35	D	4.47	21.1	19	15	0	0	△	△	△
46	D	3.79	20.1	19	13	1	0	△	○	△
29	C	3.97	19.2	10	20	0	0	○	△	△

※データは2019年8月31日時点のもの